

特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果，世界的位置付けなど。

(評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

< 特筆すべき教育活動 >

1. 2007年10月～2009年3月の期間で実施した「サービス・イノベーション・マネージャー人材育成プログラム」は、サービス部門において新たな生産性を創造し、サービスの質を管理できる人材を育てることを目標に各種の講義と演習を実施した。

2. 2007年～2009年度まで実施された「環境フロンティア国際プログラム」では、文理の枠にとらわれない発想力および文理を融合した知識と経験を身につけ、環境分野において実践的に活躍できる人材を養成することを目標に各種の講義を開講し、2009年度は本研究科から博士前期課程5名および博士後期課程1名の計6名の大学院生の参加をみた。

3. 地域イノベーション研究センターでは、2005年度から「長期プロジェクト型インターンシップ」(地域企業と連携して長期の就業体験を提供する)、2006年度から「プロジェクト型教育研究プログラム」(経済社会の具体的な課題の解決策を立案するなかで教育を行う)などのユニークな教育方法を実施し、2009年度には「NPO人材マネジメント・プロジェクト」(2007～09年度)、「宮城県食品産業振興プロジェクト」(2008～09年度)、「若手人材育成プロジェクト」(2009年度)等の注目すべき成果をあげている。

< 特筆すべき研究活動 >

1. 本研究科は、2008年度より本学文系部局では唯一(経済学研究科として2回目)の寄附講座として株式会社七十七銀行「地域経済金融論(七十七銀行)寄附講座」を受け入れたが、引き続き2009年度も、任期付採用教員2名によって経済活動の地域的集中とそこでの地域金融の役割に関する研究活動を実施した。

2. 「サービス・イノベーション人材育成プログラム」(佃・吉田)の成果報告を、『サービス・イノベーションの新展開』、『東北のサービス・イノベーション、ベスト・プラクティス』、『働く人ところ - ビジネスに生かすコンサルティング』として出版した。この成果は各界からの反響を呼んだ。

3. 「東北大学アジア・アフリカプログラム」の研究チームを中心として、経済学研究科および東北大学「産学協同による地域創造型アジアIT人材育成・定着プログラム(ASIST)・東北経済産業局共催の国際シンポジウム「世界金融危機後の東アジア経済 - 内生的イノベーション創出に向けた人材育成の可能性を探る - 」を開催した(2010年2月5日、東北大学マルチメディア・大ホール)。

<特筆すべき社会貢献活動等>

1. 地域イノベーション研究センターは、財団法人東北産業活性化センターと連携して、経済学研究科の教員が東北地域の7県を巡回しながら、中小企業経営および地域活性化に関する無料公開講座を提供する「イノベーション・カレッジ」を実施しているが、2009年度には福島県（9月5日、コラッセふくしま、52名受講）、宮城県（9月12日、仙台国際センター、134名受講）、山形県（9月19日、秋田県総合保健センター、35名受講）を開催した。

2. 「地域経済金融論（七十七銀行）寄附講座」が中心となって、地域社会再生のための地方銀行の役割や地域金融の可能性を探る目的で、公開シンポジウム「地域金融を考える - 地域社会における地域金融機関の役割再考 - 」を開催した（2009年8月31日、於仙台国際センター）。